

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	あり
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃとうきょうこんさーつ 株式会社東京コンサーツ		団体ウェブサイトURL https://www.tokyo-concerts.co.jp/	
	代表取締役 浅野紀子			
制作団体所在地	〒 169-0051	最寄り駅(バス停)	早稲田駅/西早稲田駅	
	東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2階			
電話番号	03-3200-9755			
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじんれいがくしゃ 一般社団法人伶楽舎		団体ウェブサイトURL http://reigakusha.com/home/	
	代表理事 八百谷啓人			
公演団体所在地	〒 160-0012	最寄り駅(バス停)	信濃町駅	
	東京都新宿区南元町19-2 千日谷会堂内			
制作団体 設立年月	1969年3月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役社長:浅野紀子 取締役:久保木英紀 相談役:垣ヶ原靖博、監査役:尚邦男		スタッフ:9名	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	尚紀子	
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	村石政昭	
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	reigakusha.iimukyoku03@gmail.com			

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1969年創立。以後、作曲家・音楽家のマネジメント・演奏会の企画制作を行う。 制作など: 文化庁学校公演巡廻事業 伶楽舎、組踊伝承の会 サントリホールサマーフェスティバル(1988～)、東日本鉄道文化財団主催駅コンサート、旧奏楽堂日本歌曲コンクール運営、福島市古閑裕而作曲コンクール運営、個人のリサイタル等 現在の所属アーティスト: 作曲家池辺晋一郎、新実徳英、猿谷紀郎、権代敦彦、望月京、杉山洋一、原田敬子、金子仁美、伊左治直、岸野末利加、藪田翔一 雅楽伶楽舎、箏吉村七重 指揮杉山洋一、伊藤翔、新田ユリ、ピアノ青柳いづみ、木村かをり、大瀧拓哉、泊真美子、本田聖嗣、深見まどかこ、オルガン松居直美、ハープ篠崎史子、木村茉莉、篠崎和子、ヴァイオリン尾池亜美、チェロ山澤慧、ギター藤元高輝、サクソ大石将紀、打楽器吉原すみれ、安江佐和子、新野将之、歌人俵万智、劇作家堤春恵 他 歴代の所属アーティスト: 作曲家武満徹、石井眞木、松村禎三、三善晃、一柳慧、湯浅譲二 指揮岩城宏之、若杉弘 他</p> <p>2016年にはコンサート・練習スペースである「トーキョーコンサーツ・ラボ」をオープンし、会場の運営業務・自主制作の公演事業も行っている。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>伶楽舎の実績 【2022年度】 文化庁学校公演事業 8件 その他 15件（北区立王子第二小学校、北区立稲付中学校、豊田市立崇化館中学校、江戸川区立大杉小学校、中野区立中野本郷小学校、大田区立馬込第三小学校、江戸川区立篠崎第四小学校、杉並区立大宮小学校、小平市立小平第十四小学校、多摩市立南鶴牧小学校、港区立筭小学校、武蔵野市立大野田小学校、江戸川区立鹿骨東小学校、新宿区立大久保小学校、新宿区立戸塚第三小学校） 【2023年度】 文化庁学校巡回公演事業 7件 その他 8件（福生市立福生第一小学校、多摩桜の丘学園、港区立筭小学校、青梅市立友田小学校、渋谷区立代々木中学校、練馬区立旭丘中学校、国分寺市立第六小学校、板橋区立第五小学校、） 【2024年度】(現時点終了したもの) 3件（板橋区立三園小学校、足立区立洲江第一小学校、荒川区立尾久西小学校）</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>都内にて、直近では、 2022年に「東京都立城南特別支援学校」、 2023年12月に「東京都立多摩桜の丘学園」でワークショップを実施。 今年度は来年1月に1校予定。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/piCvRT2ER9g?feature=shared</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

別添	あり			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 一般社団法人 伶楽舎】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	「伶楽舎 子どものための雅楽コンサート」			
企画のねらい	雅楽は日本の伝統音楽でありながら、一般の人たちが触れる機会は限られており、他の邦楽に比べても、気軽に聴くことのできる機会にはほばないと言える。雅楽の構成要素を紹介する網羅したプログラムにより、その音楽を様々な面から紹介し、体験してもらう。 プログラムの構成:楽器紹介、管絃の演奏、舞楽の演奏、管楽器・打楽器・舞の体験、子供のための現代の作品の演奏			
演目概要・演目選択理由	<ul style="list-style-type: none"> ●「越天楽今様/越天楽」教科書にも掲載されている楽曲として、親しみやすく、導入に最適の作品である。 ●舞楽「陵王」越天楽と同様最も有名であり、ストーリーもわかりやすく見どころの多い作品を選曲。 ●「あんたがたどこさ」「各校の校歌」知っている曲が雅楽で演奏された際の響きの違い、印象の違いなどを体験してもらう。 ●「ポン太と神鳴りさま」(小学生) 伶楽舎の創設者である故・芝祐靖が子どものために考えたお話つきの新作雅楽。様々な雅楽の響きやリズムを、お話を聞きながら体験できる。伶楽舎はこの作品が創作されて以降、数名の作曲家に委嘱し何作品かの子ども向け、お話つき雅楽作品のレパートリーがある。 ●「星のテンテンテン」(中学生) 子どもたちに今の感覚で楽しんでもらえる新作を模索し、山根明季子氏に2017年に委嘱初演した作品。古典だけではなく雅楽の魅力も体験してもらいたい。 ●舞楽「納曽利急」(中学生) 中国系に由来する左舞である舞楽「陵王」に対して、朝鮮半島系の右舞である舞楽「納曽利」を取り上げることで、二つの舞の違いを鑑賞してもらう。 ●「長慶子」(中学生) 舞楽会の最後にしばしば「退出音声」(退出の音楽)として演奏されてきた曲で、本公演でも、舞楽会の散会の雰囲気味わってもらう。 			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・雅楽の統書きの楽譜を見ながら、雅楽楽器の伝統的な習得法である「唱歌」を、拍子を取りながら一緒に歌う。 ・雅楽のリズムパターンや打ち方を知るために、打楽器の打ち方を、指導者の動作を真似て一緒に行う。 ・舞楽の舞の振り付けを、実際に一緒に身体を動かして覚え、特徴を知る。 ・管楽器3種(笙・箏・龍笛)と打楽器3種を体験する。 ・小学校では、リコーダーで雅楽のメロディーを吹き、その音楽に親しみ、合奏に参加する。 ●本公演 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップで学んだ「唱歌」を復習し、児童生徒の代表者が舞台にあがり「越天楽」の演奏に参加する。 ・箏のある学校では箏の体験も行う。また、希望の学校にはワークショップの際に龍笛をお貸しし、練習ができた学校では、龍笛でも参加してもらう。 			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	全員	
		鑑賞人数目安	制限はありません。	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【小学生】</p> <p>①「平調音取」、「越天楽」</p> <p>②児童との合奏 ★体験・参加 □ 唱歌の練習～打楽器、龍笛の練習、箏の練習(箏がある学校のみ)～リコーダーの練習～合奏「越天楽今様」</p> <p>③舞楽のお話</p> <p>④舞楽「陵王」</p> <p>⑤舞人、装束などの説明</p> <p>⑥「あんたがたどこさ」(芝祐靖編曲)</p> <p>⑦「ポン太と神鳴りさま」(芝祐靖脚本・作曲)</p> <p>⑧「校歌」</p>	<p>【中学生】</p> <p>①「平調音取」、「越天楽」</p> <p>②児童との合奏 ★体験・参加 □ 唱歌の練習～打楽器、龍笛の練習、箏の練習(箏がある学校のみ)～合奏「越天楽」</p> <p>③管絃「陪臚」のリズム体験 ★体験・参加</p> <p>④「陪臚」</p> <p>⑤「星のテンテンテン」より(山根明季子作曲、2017年伶楽舎委嘱作品)</p> <p>⑥「あんたがたどこさ」(芝祐靖編曲)、「校歌」</p> <p>⑦舞楽「陵王」</p> <p>⑧装束や左舞、右舞の説明</p> <p>⑨舞楽「納曽利急」</p> <p>⑩「太食調音取」、「長慶子」 公演時間 約90分</p>		
出演者	【出演予定メンバー】伊崎善之、石川高、五月女愛、笹本武志、野護元、北村茉莉子、田口和美、鈴木絵理、谷内信一、田淵勝彦、角田眞美、東野珠実、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、三浦礼美、宮丸直子、村岡健一郎、國本淑恵			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<ul style="list-style-type: none"> ●宮田まゆみ(音楽監督) 国立音楽大学卒業後、雅楽を学ぶ。1979年より国立劇場雅楽公演に参加。83年に初の笙リサイタルを開催。85年より「伶楽舎」メンバー。古典雅楽に加えてジョン・ケージ、武満徹、細川俊夫などの現代作品を初演。オーケストラとの共演、各国の音楽祭参加など幅広く活動している。2020年より伶楽舎音楽監督。芸術選奨文部科学大臣賞受賞。18年秋の褒章において紫綬褒章を受章。21年度国際交流基金賞受賞。国立音楽大学招聘教授。 ●伊崎善之 東京藝術大学卒業。2009年同大学非常勤講師を勤める。「伶楽舎」に所属し、これまでにアメリカ、イギリス、フランス、中国、韓国をはじめ、国立劇場雅楽公演、サイトウキネンフェスティバルなど国内外の数多くの公演に出演。世界中で話題となったハリウッド製作ドラマ「SNOGUN 将軍」のレコーディングに参加するなど、横笛奏者として幅広い演奏活動を展開している。 ●野護元 大分県出身。幼少より龍笛を始める。横笛演奏を芝祐靖氏に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科雅楽専攻にて、横笛、左舞、古代歌謡、琵琶、鼓類などを修め卒業。安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会新人賞の各賞を受賞。国立劇場主催公演、「Japonismes 2018」、東儀秀樹コンサートなど国内外の公演に出演。現代作曲家による新作、ゲーム音楽など様式を問わない幅広い活動を展開。「伶楽舎」所属。 			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者: 13 名 スタッフ: 2 名 合計: 15 名	積載量: 0.7 t 車長: 4.7 m 台数: 1 台		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		0	時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	10:00	10:00-12:00		13:30-15:00	15分	15:00-16:00	16時00分	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月		7月		8月		9月	
	21日		21日		0日		20日	
	10月		11月		12月		1月	
	22日		18日		18日		17日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		137日
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</small>				ワークショップ 龍笛の体験				
				ワークショップ 舞の体験				
				本公演 舞台の広さにより舞台上で演奏することもあります。 演奏場所は、ご都合により調整いたします。				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当あり		該当コンテンツ名		「ボン太と神鳴りさま」	
	該当事項がある場合		権利者名 芝祐仁		許諾確認状況		使用(上演)許諾取付済	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人伶楽舎】

ワークショップのねらい	本公演への導入として、基本的な雅楽についての知識習得の内容とする。唱歌と一緒に歌うことのほか、実際に雅楽の楽器や舞の体験してもらうことで、五感を使う学習の場とする。 小学校の場合には、音楽の教科書に載っている「越天楽今様」をまずはリコーダーでとりあげ、そのメロディに触れることで親しむところからはじめ、各楽器の特徴を知り、合奏において、その優美な音楽の雰囲気を感じてもらう。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	笙:4名程度、箏:6名程度、龍笛:15名程度 打楽器:15名程度 唱歌・舞:全員
ワークショップ実施形態及び内容	<p>標準:90分</p> <p>①「平調音取」、「越天楽」 「管絃」では、楽曲の演奏に先立ち、まず「音取(ねとり)」という短い曲を演奏します。これは、楽器の音合わせ(チューニング)から発展した形ですが、各楽器の奏者が、笙、箏、龍笛、鞆鼓、琵琶、箏の順に演奏します。これから始まる楽曲が、どんな響きのものか、知ることができます。 「平調音取(ひょうじょうのねとり)」の後、雅楽作品でもっとも有名な「越天楽」を演奏します。</p> <p>②楽器紹介 笙、箏、龍笛 各楽器の特徴、音を聴いてもらいます。</p> <p>③越天楽の唱歌 ★体験・参加 縦書きの楽譜を見ながら、雅楽楽器の伝統的な習得法である「唱歌(しょうが)」を、拍子をとりながら一緒に歌います。</p> <p>④楽器紹介 琵琶、箏</p> <p>⑤楽器体験 ★体験・参加 ・笙 4名程度 ・箏 6名程度 ・龍笛 15名程度 ※あらかじめ体験する生徒を決めておいていただき、順番に体験します。</p> <p>⑥舞の体験 ★体験・参加 舞楽の特徴的な動きを全員が体験します。</p> <p><休憩></p> <p>⑦楽器紹介 打楽器</p> <p>⑧楽器体験 鞆鼓、太鼓、鉦鼓 ★体験・参加 各5~10人(合計15~30人) ※あらかじめ体験する生徒を決めておいていただき、順番に体験します。</p> <p>ワークシート、塗り絵を配りますので、順番を待っている間、他の生徒が体験している間に進めます。</p> <p>⑨合奏「越天楽」 ★体験・参加 ・鞆鼓、太鼓、鉦鼓を体験した人の中から代表者が雅楽の楽器とあわせて演奏します。</p> <p>⑩「越天楽今様」の練習 ・みんなで歌ってみます。 ・本公演では全員でリコーダーを練習して合奏に参加してもらうことを説明したうえで、ワークショップでは、まず、リコーダーと合わせて歌ってみます。 ★中学生は、「越天楽今様」ではなく、本公演で演奏する「陪臚」の説明をします。越天楽とは違う拍子、軽快なリズムの作品であり、そのリズムの違いを体験してもらいます。</p> <p>⑪「越天楽」の演奏 学んだ楽器や唱歌の後に、もう一度「越天楽」を聴いてもらいます。初めに聴いたときと違う聴き方ができ、また、「越天楽今様」との違いも聴き取れると思います。</p> <p>⑫質問、その他</p>		

<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>本公演に向けて、希望がある学校については、ワークショップ後本公演まで、子供達が楽器を体験、練習できるように龍笛を数本お預けします。</p>
----------------------------	--

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由	
【公演団体名 一般社団法人 伶楽舎】	
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>伶楽舎は、雅楽の合奏研究を目的に 1985 年に発足したが、現行の雅楽古典曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の委嘱と演奏に取り組み、国内外で幅広い活動を展開してきました。その活動内容を活かし、また雅楽の普及のために、子供たちへのプログラムについても研究しています。</p> <p>2015年からは自主企画としても子供向けのコンサートを毎年開催し、子供向けのレパートリーも開拓してきていることから、本事業において、雅楽の多面的な魅力を、これまでの蓄積から集約し、紹介、体験してもらいたいと考えています。</p> <p>【プログラムの構成について】 楽器紹介、管絃の演奏、舞楽の演奏、管楽器・打楽器・舞の体験、子供のための現代の作品の演奏と、雅楽の構成要素を網羅した内容により、ワークショップと本公演の2日間において、子どもたちが雅楽を様々な側面から触れられるようにプログラムしています。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>【学校との連絡調整について】 事前準備のお願い、当日の流れなどについては、詳細をまとめた資料を事前にお送りし、先生方が不安なく当日を迎えていただけるように、調整いたします。 電話、メール、FAXなど、相手の都合の良い方法を最初に確認したうえで、コミュニケーションを図ります。</p> <p>【学校に応じた工夫について】 学校として箏を所有しておりお稽古などしている場合には、箏も取り入れてワークショップを行います。同じように、ブラスバンドが得意な学校であれば、管楽器の体験数を増やすなど、学校の特色に応じて、効果的に体験ができるように、相談をしていきます。 雅楽の楽器、特に管楽器は、音を出すことに苦勞する場合がありますので、児童の様子を聞きながら、また先生の希望をお聞きしながら、体験の割り振りなど相談いたします。</p> <p>希望がある学校については、ワークショップ後、本公演までの間に、子供達が楽器を体験、練習できるように龍笛を数本お預けします。</p>

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名 一般社団法人伶楽舎】
項目内容 動画リンク	<p>伶楽舎 動画一覧 https://reigakusha.com/home/repertoire</p> <p>伶楽舎 ダイジェスト 越天楽～楽器紹介～舞楽～ポン太と神鳴りさま https://youtu.be/TiN2Xt6Mv-E?feature=shared</p> <p>越天楽 https://www.youtube.com/watch?v=qVONtusvSx8&t=1s</p> <p>舞楽 陵王 https://www.youtube.com/watch?v=FEHrZ8LDaIY</p> <p>ポン太と神鳴りさま(芝祐靖 作曲・脚本) https://youtu.be/FjfluyyLpc</p> <p>伶楽舎・<雅楽VR動画>管絃「越天楽」 supported by KDDI / 国立劇場 https://youtu.be/s9F00Ye13KU?feature=shared</p>	

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	一般社団法人 伶楽舎】
項目内容 出演者プロフィール	<p>八百谷啓人(代表理事) 伶楽舎代表理事、僧侶・雅楽演奏家。1985年伶楽舎に入会、1986年伶楽舎事務局長に就任、2013年伶楽舎法人化にともない理事に就任。2019年芝祐靖死去にともない伶楽舎代表理事に就任。 1980年国立劇場第二十八回雅楽公演に参加。以後国立劇場における雅楽公演に常時多数参加。1986年イタリア・リミニ市にてFestival Meeting 86に参加。以後声明とのコラボレーションで度々ヨーロッパにて演奏。「伶楽舎」「アンサンブル遊声」等の一員としてツアー多数参加。</p>		
	<p>笹本武志 琴古流尺八家元の家系に育ち、東京藝術大学大学院修士課程修了。龍笛および雅楽演奏を芝祐靖氏に師事。主な著書に、「はじめての雅楽」(東京堂出版)があり、作曲家としてCDや楽譜が出版されている。武蔵野雅楽教室、北区子ども文化教室(雅楽)、NYコロンビア大学雅楽プロジェクトなどで講師を務める。「伶楽舎」所属。</p>		
	<p>田淵勝彦 東京藝術大学附属音楽高校、同大学器楽科卒業。大学入学時より雅楽を始める。箏篳を東儀博氏、雅楽全般を芝祐靖氏に師事。三宅一生バリコレクション、シカゴ交響楽団定期演奏会、バリオペラ座定期パレー公演、カナダ国立モントリオール・グランパレー公演等、古典、現代曲を問わず国内外で幅広い演奏活動を行っている。鶴沼箏篳倶楽部主催、比々多神社雅楽会代表。伶楽舎理事。</p>		
	<p>中村華子 国立音楽大学音楽学学科卒業。箏を宮田まゆみ、多忠輝、雅楽合奏を芝祐靖の各氏に師事。2006年度文化庁新進芸術家国内研修員。「伶楽舎」メンバーとして活動する他、「Shogirls」「雅楽三昧中村さんち」「どんぶらこ」などのユニットでの活動や、箏のソロ作品やアンサンブル作品の初演や他ジャンルの芸術とのコラボレーションも多い。</p>		
	<p>中村仁美 東京藝術大学大学院音楽学修了。箏篳、左舞、古代歌謡などを学んで雅楽を演奏する他、現代作品を様々なジャンルの音楽家と共演。リサイタルで委嘱した箏篳ソロ・アンサンブル曲をCD「ひちりき萬華鏡」「胡笳の声」に収録。欧州や北米等の音楽祭にも参加する他、「雅楽三昧中村さんち」など小ユニットでも活動。2010年松尾芸能賞新人賞受賞。国立音楽大学非常勤講師。「伶楽舎」所属。</p>		
	<p>野田美香 東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。宮城会コンクール入賞、NHK邦楽オーディション合格。「彩音」「箏座」「ら・ぶりーさ」のメンバーとして、演奏活動及び教授活動を行なう。伶楽舎では箏篳奏者として、雅楽古典曲、古典廃絶曲の復曲、正倉院復元楽器による合奏、現代作品の演奏を行なう。国立劇場音楽公演の他、タングルウッド音楽祭など海外の音楽祭に多数出演。</p>		
<p>三浦礼美 国立音楽大学卒。箏を宮田まゆみ、豊英秋各氏に、雅楽合奏を芝祐靖氏に師事。「伶楽舎」の一員として国内外の公演に多数出演。また箏3人のユニットShogirlsを結成し2012年より毎年公演を行い、新曲委嘱、初演にも積極的に取り組んでいる。TV、CD等の録音も多数。ムサシノ雅楽教室、雅の会ふくしま講師。</p>			
<p>宮丸直子 東京藝術大学音楽学部、同大学院修了(音楽学専攻)。日本の伝統音楽各種の理論と実技を学び、横道萬里雄、小泉文夫、若山胤雄各師他から薫陶を受ける。芝祐靖師には在学中から師事、その後、伶楽舎メンバーとして創立時から活動、古典や新作初演に参加、国内各地の他、海外20カ国で公演。演奏以外にも著述活動も多く行い、普及活動を展開している。</p>			